

## COVID-19 に対するリハビリテーションのニーズに関するラピッドレビュー (2020年3月31日更新版)

### 【文献の概要】

COVID-19 に関してリハビリテーションのニーズに関する最新の情報を提供するために2020年3月31日時点で掲載されている文献を rapid review としてまとめたものです。

### 【文献のカテゴリ】

Rapid Review

### 【文献の内容】

- ・ Pubmed、Pedro、Google Scholar で「covid-19」、「コロナウイルス」、「SARS-CoV」、「リハビリテーション」、「理学療法モダリティ」、「運動」、「作業療法」、「後期合併症」という検索語で、2020年3月31日までに発表された英語論文の結果を示した。
- ・ 検索された論文は全部で2758件あり、そのうち目的に合った内容の文献は9件だった。
- ・ 上記の文献は現在の Covid-19 のパンデミックについてではなく過去の研究に基づいて記載されたものであった。
- ・ 内容は、「行動の呼びかけ」、「急性期のリハビリテーション介入に関する推奨事項の提供」、「移動が制限された Covid-19 患者に対するリハビリテーションの必要性」、「Covid-19 患者の健康戦略の有用性をテストするための臨床試験」などであった。
- ・ 検索された文献から得られた知見として、以下が挙げられた。
  - 1) COVID-19 の入院患者に対して早期にリハビリテーションを提供する必要がある。
  - 2) ロックダウンのため移動が制限されている人々は虚弱、サルコペニア、認知機能低下やうつ病のリスクを軽減するために運動プログラムを提供すべきである。
  - 3) テレリハビリテーションは在宅生活者にとって第一選択になりうるかもしれない。

### 【この文献から地域理学療法を展開する上で参考になること】

- ・ 現在、3密を避けるため地域での集団的な介入を積極的にできていない現状があると思われませんが、心身機能の維持向上、サルコペニア・認知機能低下・抑うつ予防のために、今後、在宅非監視下で実施可能なプログラムの指導やリモートによる介入など手段や環境の変更について検討が必要となってくるかもしれません。

### 【出典】

Maria GC, alessandro DS, Elisa A, Francesco N, Stefano N. Systematic Rapid “Living” Review on Rehabilitation Needs Due to covid-19:Update to March 31<sup>st</sup> 2020.

*Eur J Phys Rehabil Med.* 2020 Apr 22. DOI: 10.23736/S1973-9087.20.06329-7.

発行日：2020/7/1

文責：済生会小樽病院 三浦富美彦